





## ネットスラング

ネットスラングというのをご存じでしょうか。インターネット上の会話で使われ、文字や記号を用いた俗語を指します。対面する会話では、人は表情を読み取り言葉の意味を理解しますが、文字だけの遣り取りでは感情の表現が難しく、時には誤解を招くこともあるでしょう。それを解消するためにネットスラングは使われたりします。一般的に認知されているものとしては語尾に付ける「w」、(笑) や (汗)、などでしょうか。wは「笑い」を入力する時のw a r a iの頭文字「w」で、楽しい雰囲気や和やかな雰囲気を表したい時に用い、それが三つで大笑いお意味します。(笑) も笑っているさまを表し、(汗) は焦っていて汗をかくさまを表したりします。(泣) で悲しさを表わしたり、(怒) と書かれれば、お分かりですね？

なぜこんなことを書いているかというと、ついさっきまで外での作業をしていましたが、梅雨明けして暑い！！！（滝汗）というようなことが言いたくてw

しかしここでいう（滝汗）は大いに焦っているのではなく、実際に滝のように汗をかいしているのでありました。飲んだ水分が五分後には全部汗として流れ出ているんじやないかと思うほどに汗だくです。下を向くと眼鏡の内側は汗のプールになってしまいます。

さあ、夏本番ですね！皆様も体調管理にはお気を付けくださいね。



## 天気の名

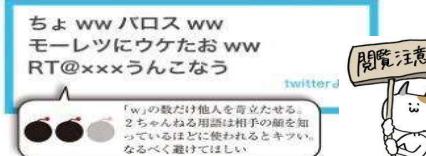
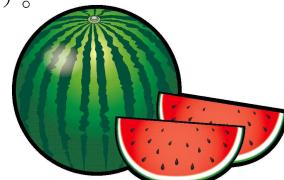


柳田 敏和

梅雨の時期はジメジメとしていて過ごしの良い日は限られたものですが、人間だけでなく、植物にとっても異質なようで今年は特に日照時間が極端に少なく、農作物特に今の時期日光を浴びていなくてはならない米の発育が遅れているようです。梅雨が明けてみれば例年通りの猛暑がやってくるらしく、今のどんよりとした空が恋しくなるかもしれません、木や草花、その時節の物とは人間の様に一晩寝たら治るという物ではなく、湿気が強ければ材木は磨いたその日の午後にはカビが生え、プランターのにんにくは溶けてなくなり、ナスは身をつけぬまま花が枯れてしまいました。

古来より日本は四季がはっきりとしていて、それを楽しむ心のようなものが他の地域より強く根付いていると言われていますが、四季がはっきりとしているというよりは、その節々に起こる現象が印象深いということなのではないでしょうか。台風、猛暑、山火事、洪水、積雪、豪雨など、日本人はそれぞれに名前をつけて呼んでいたりします。雨の名前だけでも400通りを超える表現があるといいます。それだけ気象の影響を受けやすく、アンテナを張って敏感に捉える気質であったということです。その日の天候など、過ぎてしまえばきっと忘れてしまうことなのでしょうが、日々の天気を気にするということは、毎朝テレビで天気予報をみて一喜一憂する行為は、きっと日本人らしい過ごし方なのではないかと思います。

正樹



## 夏の戒め三つ

年令を重ねるのに、追い打ちをかけてくる気象の厳しさ。“楽あれば、苦あり”を改めて思い知る日々。

今更乍ら、私自身生活態度の改良を並べてみました。

一つ、早寝早起き。用事はなるべく早朝に済ませ、昼間は、なるべくのんびりと。

二つ、食事の内容に気を使う。好きな食べ物に偏らず暴飲暴食を慎む。

三つ、なるべく体を動かす。

熱中症対策に水分、塩分補給だけでは、間に合わないことを思い知らされています。

栗原



## 鳴き声

飽きるくらいの雨のあと、我が家に巣を作ったツバメは2回目の雛が巣立ち、電線に等間隔で並ぶ子ツバメが鳴きながら、こちらを眺めている今日この頃。昼間の暑さは、苦しくなる程暑い。やっと蝉が鳴きはじめたかと思えば、夜は秋の虫が鳴いている・・。これから8月なのにね。その雨がつづいた7月、御厨地域のお盆、会社はお休みでした。私にとっては有難いこと、現場管理をしている者は稼働していました。お盆の前は草取りに追われ、あそこもあっちも草がみえる！！隣の家が新盆なので、我が家の畑が草ばかりではねえ・・と必死に草をとる。其れに加え、うちにいらっしゃる獣は、網の中のトウモロコシを食べに食べ。育てた人間の口には入らない。獣はなにかわからない。工事現場でピカピカ光る物を3~4カ所設置したところ、一時は来なくなつたが、何の害もないと分かればまた・・。勘弁してもらいたい。ピカピカ光る物は昼間ソーラー充電し夜光る。赤や青とクリスマスかい！とつっこみたくなる程。まあ、綺麗だと思って頂ければ。近所の人が獣を捕獲する檻を貸してくれ、トマトを餌に設置したが、一向にかかるない！！かかってもらっても困るんだが・・と内心思っているせいだろうか。夜な夜な鹿の声を聞きながら、秋の虫の音が大きくならないかと、難しい俳句考えてます。

兼題 蝉 「杜ゆれる蝉の輪唱カナカナカナ」入選外 おそらくベターだったのだろう  
「透けそうな羽化した蝉の無防備さ」佳作

兼題 梅雨 「手フレーム重なる縦線梅雨の海」佳作

佳作が未だつづいています。頑張ります！



ねがみ